

第9号

平成29年11月1日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



おもいやり明日へ
Kindness for Tomorrow

主な記事

第3回定例会報告	P2
平成28年度決算特別委員会報告	p3~P5
町政 ここを問う（一般質問）	P6~P8
議会視察報告	p9
常任委員会報告	P10~P11
研修報告・各種委員会報告	P12



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

地方交付税6,789万円の増額、 基金からの繰入5,258万円を減額。

第3回定例会は9月6日から13日まで開催されました。平成28年度決算認定のほか、提案された条例や補正予算、人事案などすべての議案を可決しました。

その結果、平成29年度一般会計予算の歳入歳出総額は57億6,456万円になりました。その他4件の報告を審査し閉会しました。

【議案審議結果】

報告	補助団体監査結果報告について	報告済
	平成29年度に公表する健全化判断比率・資金不足比率について	
	平成29年度教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について	
認定	平成28年度一般会計等7会計の歳入歳出決算の認定について	全会一致
	平成28年度老人保険施設事業会計未処理欠損金の処理について (会計閉鎖に当たり、決算後の欠損金について、資本金等で処理)	
条例	奈井江町土地改良事業分担金の徴収に関する条例及び負担金等徴収条例の一部改正 (土地改良法の改正による)	全会一致
	奈井江町課設置条例の一部を改正する条例 (ふるさと商工課をふるさと商工観光課へ)	
補正予算	平成29年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求める (滝川西高等学校の甲子園大会出場に、10万円を助成)	全会一致
	平成29年度一般会計補正予算(第6号) (地方交付税の確定、寄付金などにより1,760万円の追加)	
規約変更	北海道市町村職員退職手当組合理約、北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約、北海道市町村総合事務組合理約の変更について (構成市町村・事務組合の事務の追加、脱退による規約の変更)	全会一致
人事	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (任期満了に伴い後任に、三原 新氏の選任に同意)	全会一致
	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて (砂村 博幸氏再任に同意)	
会議案	議員の派遣承認 (ハウスヤルビ町視察団として、森岡議員・竹森議員の派遣を承認)	全会一致

選挙権が得られたら、自分にとって利益になるかどうかをよく考えて投票したい。
(大西さん)

国会のように激しい言い合いをするのかと思っていたら、意外と静かだった。
(藤井さん)

給食費や病院のことなど、難しくてもう話だった。
(石川くん)

高校生が 傍聴しました

役場と教育委員会で職場体験中の奈井江商業高校2年生が一般質問を傍聴しました。

後日、高校におじゃまして、感想や選挙権について聞きました。



平成28年度一般会計等7会計の歳入歳出決算を審議し全会計認定

全会計で健全財政堅持

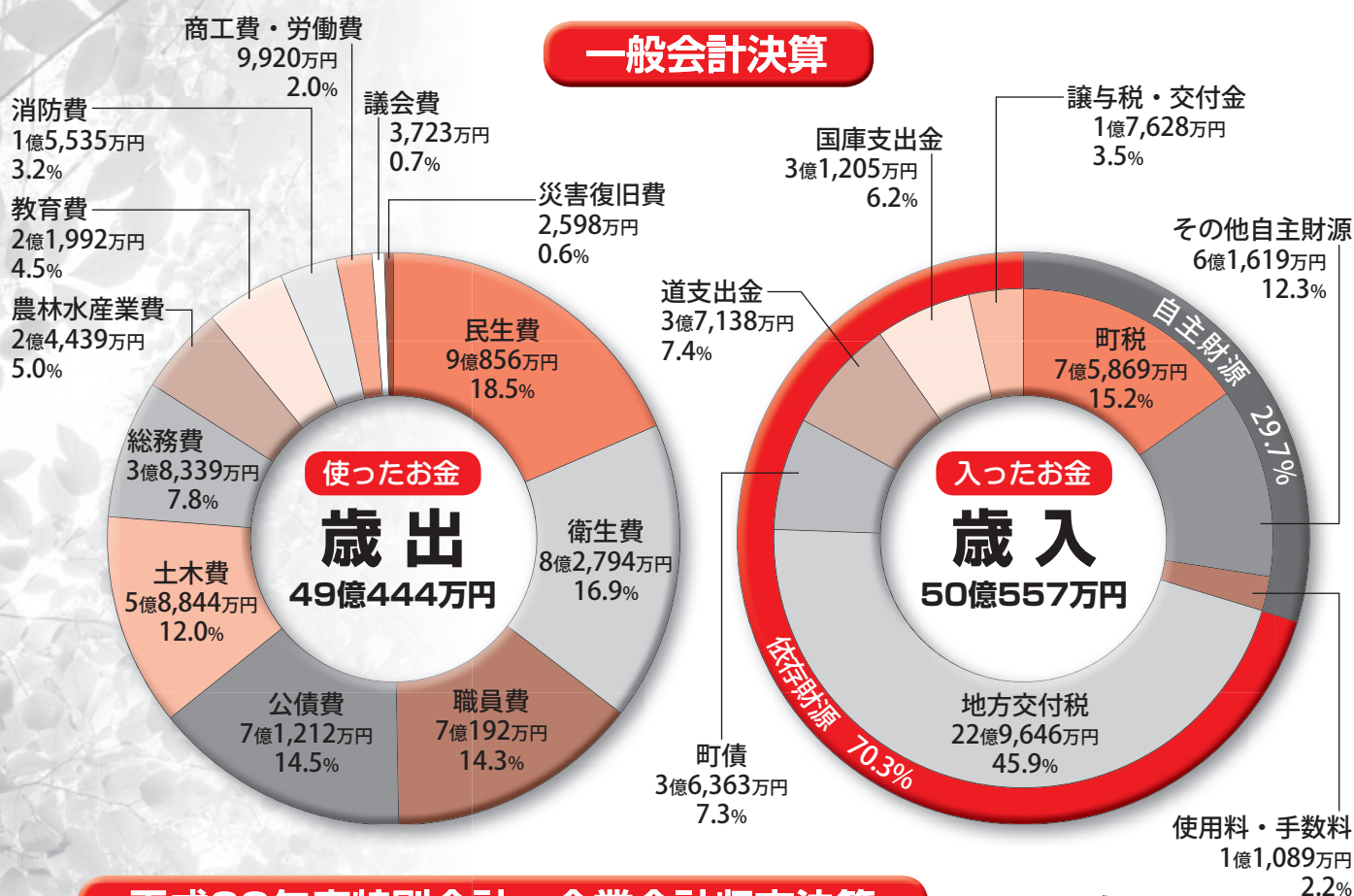
9月7日・8日、決算審査特別委員会を開催し、平成28年度一般会計・3特別会計・3企業会計について審査し、すべて認定しました。

「第6期まちづくり計画」の2年目として、定住対策を推進し、奈井江版総合戦略に基づく事業を進めました。

計画的なまちづくりと行財政改革の結果、各会計とも実質赤字等は発生しておりません。

なお、老人保健施設事業会計・老人総合福祉施設会計は、民間移管に伴い、28年度をもって廃止となります。

一般会計決算



平成28年度特別会計・企業会計収支決算

特別会計	会計名	歳入	歳出
	国民健康保険事業	2億7,595万円	2億7,392万円
	後期高齢者医療	9,159万円	9,099万円
	下水道事業	4億7,452万円	4億7,364万円

企業会計	会計名	収益的収入		資本的収支	
		収入	支出	収入	支出
	町立国民健康保険病院事業	11億 139万円	11億3,087万円	2億1,135万円	2億5,737万円
	老人保健施設事業 (健寿苑)	2億3,320万円	2億2,859万円	2,671万円	2,881万円
	老人総合福祉施設事業 (やすらぎの家)	3億5,842万円	3億6,303万円	412万円	575万円



平成28年度

決算審査特別委員会

質疑あれこれ

主な Q & A

職員研修

問 職員研修費の執行額が少ないが、職員研修をどのように行っているのか。

答 まちづくり課

職員研修は自主研修、職場研修、自治大学校などの職場外研修に区分し、研修計画を立てて実施している。

基礎研修や、新人研修は予定どおりとなるが、業務

こんな事業やりました

- サービス付高齢者向け住宅整備事業
1億3,339万円
- 温泉再開準備
698万円
- 定住促進事業（住宅建設・リフォーム等）
4,099万円
- 道の駅大規模改修事業
1,943万円
- 橋梁架け替え工事
1,725万円
- 体育館トレーニング機器更新
500万円
- 認知症サポート支援事業
865万円
- 大雨時災害時復旧にかかる費用
2,598万円
- 奈井江商業高校支援事業
1,283万円
- 消防ポンプ車購入
2,578万円
- 土地改良事業
4,062万円

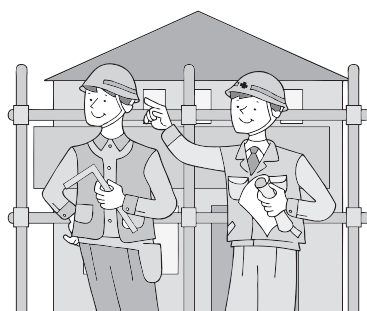
会館の修繕

問 コミュニティ会館修繕の基準は。

答 まちづくり課

従前は補助限度額400万円（補助率2分の1）の大規模改修だけだったが、小規模修繕への対応も必要なことから、平成27年7月から、10万円以上の修理に対し、補助限度額50万円（補助率2分の1）の一般修理も可能とした。

補助は各会館につき、年1回なので、計画的に進めるよう町内会と協議しながら当初予算で対応しているが、突発的な場合は補正予算で対応したい。



地域支援事業

問 まちの先生事業は活動日数45日、延べ人数425人の町民が参加しているがその内容は。

答 健康ふれあい課

現在、高齢者が自ら企画し、みなクルで運動教室やふまねつとを開催している。



ふまねつとの様子

問 住民が自ら行うことは良いことだ。各連合会に広がることを期待するが。

答 健康ふれあい課

住民主体の生活支援体制づくりは、市町村の大きな課題である。

地域の中に、運動だけでなく集まる場所をつくっていかねばならない。住民の意識づくり、地域のリーダーづくりを進めていきたい。

児童館の運営

問 児童館3施設の利用状況に大きな差がある。将来的には公民館の複合利用を検討しているが、それまでの運営方針は。

答 おもいやり課

みなクルの利用が増えたこともあり、児童館の利用は減少しているが、子ども達が、安心して利用できる居場所が必要である。

こうした機能を果たす児童館のあり方について検討をしている。

当面は現状の3施設を利用していく。

野生動物対策

問 キツネが増えているが、その対策は。



答 まちなみ課長

鳥獣保護法では街中で捕獲できない。また、エキノコックスについては、本年3月の衛生だよりで感染を防ぐ工夫や啓発の文書を配布している。

問 空き家、空き地が荒れていると、動物や害虫が増えていく、対策は。

害虫が増えていく、対策は。



答 まちなみ課長

空き家・空き地の管理については、持ち主に適正に対応するよう啓発している。

学校図書室

問 学校図書の購入額と利用状況。

答 教育委員会

28年度の予算で小学校が25万7千5百円、中学校が18万2千5百円である。

利用状況は、小学校の大规模改修で図書室がリニュ



小学校図書室

国民健康保険料

問 28、29年度に保険料の限度額を1万円ずつ引き上げ、現在は国の限度額と同額になっている。基金は3千2百万円ほど増えた。引き上げる必要はあったのか。

答 くらしと財務課

医療費は、症状が非常に重い患者の有無により、大



アルされ、本の展示も工夫しており利用がふえた。現在図書館と同じように、バーコードで本の管理をしている。

中学校の図書室は、道立図書館の職員の指導を受け、図書館司書も入り改善を図っている。

町立国保病院

問 サービス付高齢者向け住宅の入居状況と収支は。

答 町立国保病院

現在満室である。28年度は、年度途中からの開設で、赤字となった。29年度は260万円の赤字となるが、国からの交付金等で補てんされる見込みである。



町政 ここを問う

9月定例会では3人の議員が**一般質問**を行いました。

子育て支援・定住対策として――

学校給食費の

無料化拡充を

町長 来年度から第2子以降を無料化する



三浦きみ子



三浦

「家計の負担軽減による少子化対策や子育て世代の定住対策として、公立小中学校の給食を無償で提供する自治体が、全国で少なくとも55市町村あり、少しずつ広がっている」と12月19日付朝日新聞が報道した。奈井江町が妊娠出産に始まる10数年の子育て期間に対し、きめ細かい支援を提

供してきたことに敬意を表しつつ、次の4点を問う。
①今年度から第3子以降の小中学生について給食費を無料にしたが、対象者数、町の負担はいくらか。
②第1子から無料にした場合の町負担は。
③今後、補助を広げる見通しは。
④国や道へ、自治体の負担軽減を要請すべきでは。

町長

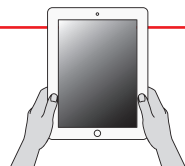
①小学生206名、中学生125名のうち、準要保護については小学生33名、中学生25名で町負担分は年間295万円。
第3子以降については、



給食風景

小学生12名、中学生8名で町負担は101万1千円。
②準要保護分に加え、小学生166名、中学生95名で、町負担は毎年1千310万円。
③子育て支援は、定住対策や少子化対策として重要な課題と認識している。
また、給食組合内の他町との均衡を図る上でも、無料化は進めるべきと考えており、段階的に拡充する。
来年度については、第2子以降に拡大する予定で、町負担は年間660万円。
④他の自治体の傾向を踏まえ、町村会を通して要請する。

一般質問を一回の操作で聞けるようになりました



3月議会より、議会の音声データをホームページに公開しました。

今号から、各議員の質問の音声を、QRコードを読み込むことで簡単に、聞けるようになります。一度、スマホ・タブレット端末をかざしてみてください。

Point

準要保護とは

経済的に就学困難な小中学生に、市町村が学用品費、通学費、修学旅行費、給食費などを援助する制度（就学援助）。
奈井江町では、所得が生活保護基準の1.3倍未満の所得がある世帯が対象。ただし、生活保護受給世帯は除く。

町立病院新改革プラン

病床転換による影響は

町長 現在と変わらず維持していく



森岡新二



森岡

今年3月に「町立国保病院改革プラン」が改訂され、36年までに黒字化をめざす様々な取り組みが示された。これをふまえて2点伺う。

- ①平成30年より入院病床をすべて医療療養病床とする計画だが、一般の入院、病診連携、救急医療体制、病院経営への影響は。
- ②「地域に開かれた病院経

営を目指す」とあるが、現状や今後の取り組みについて。

町長

①新プランでは、経営の効率化と、人員の適正配置を図るため、ベッド数は変えないが、「一般病床」と「療養病床」のミックス型から、「療養病床」に一本化する。このように変更しても、受け入れできる患者は現在と変わらず、病診連携による共同利用や、救急体制も変更はない。

病床の転換により、診療報酬ではマイナスの部分もあるが、看護師の配置基準が緩和され、外来や訪問看護等、人員が不足している

部門に、配置強化ができる。

- ②当院は国民健康保険病院として、医療を提供するとともに、住民の健康づくりや、地域包括ケアの拠点としての活動も求められる。

これまでも医師による町民向け講演や生活習慣病予防対策事業の実施、また、昨年オープンしたサ高住の交流スペースを活用し、一般町民も対象とした講座等

も開催している。

今後も広報ないえやホームページ等を通じ、新たに導入した機器の情報発信など、町民の身近な病院として信頼される病院づくりに努める。



新たな財政推計について

後期5力年計画への影響は

町長 少子高齢・定住対策を継続

森岡

8月に示された、新たな財政推計について2点伺う。

- ①昨年の町政懇談会に示された、平成31年度末の基金残高2億2千万円が、新たな推計では5億6千万円に

増えた理由は。

- ②前期5力年計画策定時より、財政調整基金がかなり厳しくなるが、後期5力年計画への影響は。

町長

- ①病院・下水道会計への繰

り出し金の増、温泉施設の運営経費、介護2施設の民間移管にともなう一般会計負担経費等、1億9千万円の歳出増となるが、中空知広域市町村圏組合からの返還金、町税・ふるさと納税寄付金・地方交付税の実績ベースによる再算定で4億4千万円の歳入増を見込み、決算余剰金9千7百万円を加えて、5億6千万円と推計した。

- ②平成32年から始まる、後期5力年実施計画策定においては、少子高齢化対策・定住促進対策の継続とともに、老朽化する公共施設の大規模改修、社会保障費の増加などが予想される。

既存事業について効果検証を行い、優先度を考えながら効率的、効果的な町政運営を計画的に進めていく。

町民とともに知恵を出しあい、住んで良かったと思われるまちづくりに努める。

「広報ないえ」の充実について――

ページ数、情報量を 増やしては

【町長】限られた予算の中で、適切な情報を提供していく



大矢雅史



大矢

インターネットの利用が広がる中、ホームページの充実は大矢だが「広報ないえ」は全町民に発信できる唯一の手段で、情報共有に不可欠なものと考えている。

近年、カラー印刷になり、文字も大きく、特集など読みやすく工夫されているが、情報量が少ないと感じる。

平成28年度の平均ページ数は13.5（広告を除く）。近隣では新十津川町23.5、上砂川町18.8であり、道内の人口5千人から7千人程度の町では平均25ページである。奈井江町は高齢化が進んでおり、情報を得る機会が減少することから、広報紙の重要性はますます高まっている。

紙面の充実とともにページ数増加を考えては。

町長

「広報ないえ」は、昭和27年1月創刊以来65年にわたり情報を発信してきた。

平成11年からは、毎月15日に「ないえiBox」（自前で印刷）で、安価でタイ

ムリーな情報提供に取り組んでいる。

また、重要かつ突発的なお知らせや、周知の効果、コスト削減などを考え、チラシを作成し配布している。

指摘を受けたページ数については、自立プランを進めた際に、10ページまで減らしたこともあるが、ここ5年間は、カラー印刷を充実するなどし、14ページ強を確保している。

町や他の行政機関から依頼のあった町民向け情報は、1日と15日の広報紙で概ね確保されていると考えている。

今後でも限られた予算の中で、内容を充実させ、適切な情報を提供していきたい。

また、子どもから、高齢者まで興味ที่わき、読みやすい誌面づくりに努める。

大矢

財政健全化は理解するが、町民サービスが基本と

いう観点で再質問する。

①町民の意見を町政に反映させるために、各種委員会が設置されているが、その協議経過が伝わってこない。決まってから報告するというのではなく、協議の経過についても報告が必要では。

②各学校が独自に発行している学校便りを回覧しているが、町としても学校の情報を載せていくべきでは。

③各種イベントの報告が少ない。内容を広く知ってもらうことで、参加者増加につながるのでは。

④緊急性や予算も考えて、チラシを回覧しているというが、区長の手間もかかり、配布にも時間を要しているのでは。

町長

町民サービスには十分心しているつもりである。

①町民に知らせる必要があることは、タイムリーに周知することも重要である。現在、ホームページに一部



広報ないえ

議事録の公開もしているが、今後、広報の活用も検討したい。

②学校便りは学校が自主的に取り組んでいるもので、地域に開かれた学校づくりという観点から、町は回覧に協力している。今後も同様に側面的支援をしていく。

③各種イベントについては、町活性化の視点から、広報の取り扱いを検討する。

④チラシは、広報に比べて効果があるものを配布している。区長さんには手間をかけるが、現状の取り組みを理解願う。

正確な情報、町の活性化の両面において、住民に広く伝わる誌面づくりを基本に、今後も広報活動を続けていく。

地域で支え合う様々な工夫

団塊の世代が、75歳以上になる2025年に向けて、高齢者が安心して暮らせる町づくりが求められています。

自治体ごとに様々な工夫がうまれています。今回は役場や社協の担当職員とともに十勝の足寄町、池田町を視察してきました。

足寄町

退院後や冬期間
一人で生活できるか不安な人に

生活支援長屋



足寄町高齢者等複合施設

「むすびれっじ」を中心に

沢に沿って点在する3つの集落は、それぞれが超高齢化のため、まち全体で高齢者を支える拠点として、市街地に医療、介護、保健福祉施設をまとめたのが足寄町の特徴です。

高齢者等福祉施設「むすびれっじ」の地域交流施設で、お茶を飲みながら、脳トレや将棋、編み物など、各自好きなことをして交流。

施設の掃除や洗濯のお手伝いボランティアに参加する人も。

生活支援長屋とは

奈井江町の「ひだまり」のような施設ですが、3か月間は家賃免除、食事代のみ負担。それを過ぎると家賃が増える仕組みで、退院後や冬期間だけ、一人暮らしに不安を感じる人が入所し、3か月後には、自宅へ帰るのが原則です。

池田町

5年後、10年後をみこして

元気な高齢者が支える 地域の安心

主役は老人クラブ

仕掛け人は社会福祉協議会（以後、社協と略）ですが、地域の老人クラブが中心になって、「ふまねつと」やお茶会などで、介護予防や高齢者の引きこもりを防止しています。

そのお手伝い役に、子育て中のママさんが活躍。子どもが学校に行っている時間だけ、有償ボランティアとして、参加者の把握や活動状況の報告や見守りなど、側面的な支援を行います。

高齢化の実態を知れば

「各地の老人クラブが『我がごと』として頑張るのは、5年後、10年後の地域の実態を理解したからでしょう」とは社協担当者の話。奈井江町の地域包括ケアも、元気な高齢者が力ギを握っていると感じた、池田町での視察研修でした。



池田町社会福祉協議会視察

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

道路・橋梁の
維持管理について

計画的な維持管理、
パトロールの強化
につとめて

調査内容

町道、道道、橋梁の維持
管理について

問 町道、道道、国道も
含め、歩道や車道等
に雑草や砂利などが目立つ
が、その対応について

答 流・融雪溝路線で
は、花植えと草取り
もして頂いている。その他
については除草剤の使用も
できず、玄関先については、
協力頂けるよう考えなけれ
ばならない。空地について
は町が対応する。

【委員会からの意見・要望】
今後、計画的な維持管
理、パトロールの強化等に
つとめ、交通機能の維持に
つとめて頂きたい。

路面清掃では、道路機能
の維持、美化が図られるよ
う、地域との協力など検討
願いたい。



宮島橋現地調査

地域交流センター(道の駅)
の維持管理について

充分な協議、連携
のもと
にぎわいのある
施設運営を

調査内容

利用状況、収支、修繕状況
維持管理業務実施状況

問 防犯上も含め国道側の
樹木の撤去について

答 道路事務所からの話で
は、伐採はできないが、
剪定は良いとのことなので、
管理者に伝えた。

問 エレベーターの保守点
検を行っているが、止
めている理由について

答 いたずらがあったり、
2階の利用状況が少な
いため、止めていると聞い
ているが、適切な稼働を求める。



道の駅現地調査

問 施設改修にあたり、管
理者側と十分な協議が
あったのか

答 改修内容や時期、要望
等について、話し合い
ながら進めているが、限られ
た予算の中で、できないこと
があるのも実情であった。

【委員会からの意見・要望】

施設の維持管理において
は、指定管理者と充分な協議、
連携のもと、道の駅としての
機能が発揮され、にぎわいの
ある施設として適切な管理運
営に努めて頂きたい。

本年度は指定管理期間最終
年となり、これまでの業務に
対する評価、検証を十分に分
析しながら、地域交流センタ
ーの活性化に向けた、募集や
施設運営がなされるよう要望
する。

移住・定住事業について

**成果が
着実に表れている
ことを評価**

調査内容

平成28年度、29年度の住宅施策実施状況、人口動態内訳、定住PR事業

問 中古住宅購入助成金の算定方法は

答 床面積に対して助成する。

問 リフォーム助成は、毎年応募が多数ある

のか が、枠を広げる考えはない

答 毎年人気が高く、応募が上回る状況にあるが、継続的に実施していくには、まちづくり計画、

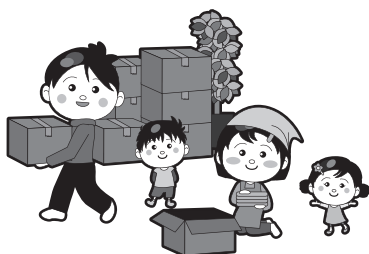
財政計画に沿って進めて行く。

【委員会からの意見・要望】

移住・定住事業は、第6期まちづくり計画、総合戦略の重要施策として積極的な情報発信や支援策の推進により、その成果が着実に表れていることを評価する。

今後とも、町内外から求められる施策の展開を図るため、地元企業の意見聴取などを通じ、ニーズの把握や情報収集、情報発信等に努めて頂きたい。

また幅広い施策の展開に向け、必要な見直しや研究、子育て支援等との連動など、一層の支援策の拡充に引き続き努力願いたい。



町税の賦課徴収状況と財政状況について

今後とも

**健全財政の堅持に
努力願いたい**

調査内容

平成29年度課税状況について

①町税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料等
②財政状況について

問 空き家で納付書が届かない家がどれくらいあるのか

答 6件あるが、内5件は追跡調査の中で再発送し、残り1件は、相続人の代表を選定中である。

問 平成30年、31年の財政調整基金は、どれくらいになるのか。

答 30年度で、2億6,616万8千円、31年度で、1億5,174万9千円

と推計している。

【委員会からの意見・要望】

税は、町政運営の自主財源であり、公平性の確保の観点からも、徴収率の向上に努めて頂きたい。

財政状況では、町税、交付税の増加が見込まない中、經常収支比率が高い水準にあり、基金の確保にも十分留意され、今後とも健全財政の堅持に努力願いたい。

また来年度より、国民健康保険制度が大きく変わるが、北海道の算定等を受け、公平で適切な保険料の設定、運営に取り組んで頂きたい。



委員会報告

議会だより8号（8月1日発行）編集のため4回の委員会を開催

広報常任委員会報告

8月31日
・第3回定例会の議会運営について

議会運営委員会報告

9月6日
・第3回定例会の議会運営について

8月30日
・第3回定例会の議案説明について

8月17日
・ハウスヤルビ町議員派遣について

7月12日
・議会懇談会について

全員協議会報告

第4回定例会（予定）

■日 程 12月13日（水）
～12月15日（金）

■場 所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

問合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp

研修報告

7/4 北海道町村議会議員研修会

会場：札幌コンベンションセンター

講演Ⅰ「トランプ政権と日本経済
—地域経済への影響は？」

講師：金子 勝（慶応義塾大学経済学部教授）

講演Ⅱ「日本政治の昨日・今日・明日」

講師：島田敏男（NHK解説副委員長）

7/10 中空知ふるさと市町村圏議員交流会

会場：赤平市東公民館

講演「アンケート調査から見える
自治体議会と総合計画の課題」

講師：水澤雅貴
（NPO法人公共政策研究所理事長）

7/25 空知町村議会議長会議員研修会

会場：沼田町まちなかほっとタウン

講演「危機管理のまちづくり」

講師：浅野一弘（札幌大学教授）

8/22 議会広報研修会

会場：札幌市ポールスター札幌

講演「議会がもっと身近になる
広報紙づくりへ」

講師：吉村 潔（広報アナリスト）



表紙の1枚
10月1日、みなクルで、あそびのフェスティバルが開催されました。

編集後記

広報常任委員3名と議会事務局1名で「議会がもっと身近になる広報紙づくりへ」というテーマの研修会に参加してきました。

講師が10町村の議会だよりを題材に、それぞれ評価できるところと改善点を指摘しながら、より良い議会だよりを作るコツを伝授するという形で進行了ました。

「読者は『何が決まったのか』だけでなく、どんな議論を経て決まったのかを知りたいのです」という講師のことばを、限られた紙面の中にどういかにするか、むずかしい宿題ですが、さらに工夫を重ねていきたいと思えます。

みなさんのご意見も遠慮なくお寄せください。

発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 三浦きみ子
副委員長 森岡 新二
委員 遠藤 共子
竹森 毅